

令和2年度システム販売の現地案内会を開催しました

令和2年6月10日

広島北部森林管理署

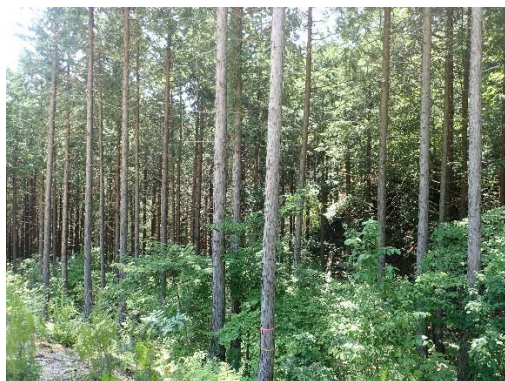
広島北部森林管理署では、令和2年度16,000m³の素材生産を計画していますが、そのうち、一般材、原料用材(低質材)で7,420m³のシステム販売を計画しています。

システム販売とは、合板用、バイオマス発電用など需要の拡大が必要な一般材、原料用材の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した製材工場、原木市場需要者へ直接山元にて販売する方法です。

広島北部森林管理署では、6月9日犬伏山国有林102ろ外林小班と俵原山国有林1014ろ外林小班の森林整備事業(主伐、間伐)現場において、システム材の買い受けを検討している事業者を対象にした現地案内会を開催しました。



現地案内会参加者へ丁寧な説明を行う担当者



システム材が生産される犬伏山国有林の現場



揃積みされた原料用材(低質材)の一部(俵原山国有林)

犬伏山国有林での現地案内会には、原料用材(低質料)の買い受けを検討している事業者1社が、また、俵原山国有林の現地案内会には、一般材と原料用材(低質料)の買い受けを検討している事業者2社が参加していただきました。

現地案内会では、一般材、原料用材(低質材)の生産予定量、林齢、販売時期、集積場所など買い受けを判断するために必要な情報について説明するとともに、参加した事業者からは道路状況や品質について質問が出ました。

広島北部森林管理署では、立木販売、委託販売とシステム販売に、引き続き積極的に取り組んでいきます。